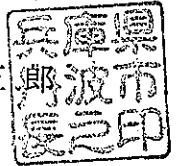




丹管理第530号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

丹波市長 辻 重五



中期的な計画の作成にあたっての意見について（回答）

新緑の候、貴職にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、丹波市の重要課題解決に向けて、日々ご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け国道企第114号にて依頼のありました見出しのことについて、別紙のとおり回答いたしますのでよろしくお願いいたします。

## 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・ 丹波市は古くから京阪神と但馬、山陰地域とを結ぶ交通の要衝として栄え、今日に至っている。
- ・ 北播磨、東播磨とは、道路（国道175号）、加古川（舟運）、鉄道（加古川線）で結ばれ、人、物が行き交い、文化の交流がある。
- ・ 道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的なインフラの一つであり、道路整備により地域の構造は大きく変わるとともに、異常災害時における重要な物資輸送ルートとしてもその整備に期待するところは大きい。

・ 地域高規格道路「東播丹波連絡道路」の西脇市黒田庄町から、丹波市氷上町間が調査区間指定されているが、早期に整備区間としての指定を要望する。

### （整備効果）

- ・ 東播丹波連絡道路は、中国縦貫自動車道、北近畿豊岡自動車道、若狭舞鶴自動車道などの幹線道路と相互に接続し、**広域的な交通基盤を形成**することが出来る。
- ・ 丹波地域の市民生活や経済・社会活動を支えるとともに、東播磨、北播磨、丹波地域間の人、物、交流を促進し、**地域活性化に多いに寄与するもの**と期待している。
- ・ 豊岡方面から神戸方面を結ぶ南北ルートのうち、国道175号ルートは所要時間が20分ほど多くかかるものの、通行料金は一番安く、東播丹波連絡道路が整備されれば更に時間短縮され重要な南北ルートとしての役割が確立される。
- ・ 東播丹波連絡道路は、丹波地域の産業、経済の発展や京阪神との交流の促進、更には救急の迅速化など、市民生活にも大いに寄与するものと考えられる。

## その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・ 少子高齢化は、丹波市においても今後、深刻な状況になるであろうと考えられ、地域社会を支えるため、医療、買い物等のサービスを広域的に共有できる交流基盤の道路整備が必要。
- ・ 丹波市においては、道路整備に対し住民から強い期待が寄せられており「一体性の速やかな確立をはかる道路」「ネットワークの充実や経済の活性化へ寄与する道路」「安全で快適な暮らしを支える道路」を道路整備の基本方針として、平成19年3月に道路整備計画プログラム（8ヵ年）を策定しました。

今後、この道路整備プログラムを進めていく上で道路特定財源は、丹波市にとっては必要不可欠であり、一般財源化されることなく道路の整備に充当されることを要望いたします。